



2022年7月13日

各位

会社名 株式会社E n j i n
代表者名 代表取締役社長 本田 幸大
(コード番号：7370 東証グロース)
問合せ先 取締役 コーポレート本部本部長 平田 佑司
(TEL 03-4590-0808 (代表))

業績予想と実績値との差異および剰余金の配当（初配）に関するお知らせ

2021年7月13日に公表いたしました2022年5月期（2021年6月1日～2022年5月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年5月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、あわせて、お知らせいたします。なお、本件は、2022年8月26日開催予定の第16回定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 業績予想と実績値との差異

(1) 2022年5月期の業績予想と実績値との差異（2021年6月1日～2022年5月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 3,106 | 百万円 932 | 百万円 932 | 百万円 588 | 円 銭 79.78 |
| 実績値（B） | 3,065 | 1,202 | 1,236 | 828 | 112.72 |
| 増減額（B - A） | △40 | 270 | 304 | 240 | — |
| 増減率（％） | △1.3 | 29.0 | 32.7 | 40.8 | — |
| （ご参考）前期実績 （2021年5月期） | 2,163 | 607 | 604 | 423 | 70.55 |

(2) 差異の理由

2022年5月期の業績は、売上高につきましては僅かに業績予想に達しませんでした。総じて計画どおりの結果となりました。また費用につきましては、プラットフォームサービスの売上高の割合が伸展したことにより売上総利益率が向上したことに加え、売上高に対する人件費比率の減少が大きな要因となり、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも業績予想を上回る結果となりました。

2. 剰余金の配当（初配）

（1）配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (2021年7月13日公表) | 前期実績 (2021年5月期) |
|----------|--------------|---------------------------|--------------------|
| 基準日 | 2022年5月31日 | 同左 | 2021年5月31日 |
| 1株当たり配当金 | 34円50銭 | 未定 | 0円00銭 |
| 配当金総額 | 254,891,520円 | — | — |
| 効力発生日 | 2022年8月29日 | — | — |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | — |

（2）理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けております。事業基盤充実のため、業績動向および財政状況等を総合的に勘案しながら、配当による株主の皆様への利益還元を努めることを基本方針としており、長期的視野に立った安定的な成果配分を継続していくために、財務基盤の強化を前提とし、配当と自己株式の取得を含めた総還元性向の目標値を当期純利益に対する30%としております。

この方針に基づき、2022年5月期の期末配当金につきましては、当期純利益に対する30.8%である1株当たり34円50銭とさせていただきます。

以 上